

所属	人間社会学部総合人間社会コース	職名	教授	氏名	神谷 英二
----	-----------------	----	----	----	-------

## 1. 教員紹介・主な研究分野

私は、現象学を中心とする現代哲学と生命倫理を中心とする応用倫理学を主な専門分野としています。現在取り組んでいる研究テーマは、以下のとおりです。

- a. 現象学的他者論および相互主観性論研究
- b. 集合的記憶を媒介とした世代間コミュニケーションに関する現象学的研究
- c. 「まちの物語論」構築のための記憶・忘却・喪失・再生に関する現象学的解釈学的研究
- d. 大学・教養・記憶を巡る思想史的研究
- e. インフォームド・コンセントに関する哲学的・倫理的基礎研究とそれに基づく医療職に対する生命倫理教育プログラムの開発と実践
- f. ロジカルシンキング、ロジカルライティング、文書添削及びコーチングを中心とする地方自治体における人材育成プログラムの開発と実践

## 2. 研究業績

### ①最近の著書・論文

#### <学術論文>

(単著)「固有名と記憶(2)」、『福岡県立大学人間社会学部紀要』第22巻第2号、福岡県立大学人間社会学部、2014年、63-76

(単著)「瓦礫の記憶論のために」、『福岡県立大学人間社会学部紀要』第24巻第2号、福岡県立大学人間社会学部、2016年、77-90

### ②その他最近の業績

#### <学会発表>

(共同) 新木真理子・東玲子・神谷英二「要介護高齢女性の祖父母的ジェネラティヴィティの語り—介護施設入所者の『世話する・世話される』世界—」日本老年看護学会第18回学術集会、2013年6月5日、大阪国際会議場

(共同) 新木真理子・東玲子・神谷英二「関節リウマチ高齢女性の祖父母的ジェネラティヴィティの様相」日本老年行動科学学会第16回大会、2013年9月1日、愛媛大学

(共同) 新木真理子・神谷英二・東玲子・吉原悦子・丸山泰子「要介護高齢者の『気遣い』に着目した介入研究の可能性を探る—ハイデガーの解釈学的現象学を基盤として—」日本看護科学学会第34回学術集会・交流集会、2014年11月30日、名古屋国際会議場

#### <教科書>

(共著) 田中哲也編『旅する大学生のガイドブック—レポートの書き方—2014年版』福岡県立大学教養演習テキスト出版会、2014年(担当箇所「第2章 レポートとは?」、21-37)

(共著) 田中哲也編『旅する大学生のガイドブック—レポートの書き方—2014年版』福岡県立大学教養演習テキスト出版会、2015年(担当箇所「第2章 レポートとは?」、21-37)

### ③過去の主要業績

#### <著書>

(共著) 千田義光・久保陽一・高山守編『講座 近・現代ドイツ哲学Ⅱ—ヘーゲル以後フッサールまで—』理想社、2006年。(担当箇所「第9章 他者経験の起源—発生的現象学におけるヒューレ・キネスターゼ・他者—」、255-277)

#### <学術論文>

(単著)「規範の生成—世代発生的現象学に基づく倫理学の可能性—」、『西日本哲学会年報』第9号、西日本哲学会、2001年、107-120

(共著) 神谷英二・橋口捷久「医学生における生命倫理—患者の権利とインフォームド・コンセント—」、『福岡県立大学人間社会学部紀要』第13巻第2号、福岡県立大学人間社会学部、2005年、75-94

(単著)「遊歩者・記憶・集団の夢—ベンヤミン『パサージュ論』による記憶論構築のた

めに一」、『福岡県立大学人間社会学部紀要』第17巻第2号、福岡県立大学人間社会学部、2009年、67-79

<翻訳>

(単著)A. J. スタインボック「限界現象と経験の限界性」、『思想』2000年第10号、No.916、岩波書店、2000年、218-243

<書評>

(単著)「武内大著『現象学と形而上学—フッサール・フィンク・ハイデガー』の書評」、実存思想協会編『思想としての仏教』実存思想論集26、理想社、2011年、179-182

### 3. 外部研究資金

日本学術振興会・科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)、研究課題名:「まちの物語論」構築のための記憶・忘却・喪失・再生に関する現象学的解釈学的研究(研究代表者:神谷英二、課題番号:25370024)、2015(平成27)年度分直接経費700,000円、間接経費210,000円、研究期間:2013(平成25)~2016(平成28)年度

### 5. 所属学会

日本哲学会、日本倫理学会、日本現象学会、日本生命倫理学会、哲学会、科学基礎論学会、実存思想協会、日本現象学・社会科学会、日本ミシェル・アンリ哲学会、中部哲学会、西日本哲学会、九州大学哲学会、日本老年看護学会、各会員

### 6. 担当授業科目

哲学Ⅰ・2単位・1年・前期、教養演習・1単位・1年・前期、生命倫理・2単位・1年・前期、哲学Ⅱ・2単位・1年・後期、論理学・2単位・2年・前期、倫理学・2単位・2・3年・前期、哲学要論・2単位・3年・後期、看護倫理・1単位・看護実践教育センター糖尿病看護認定看護師教育課程、スタートダッシュのための就活塾・単位外・3年・後期

### 7. 社会貢献活動

<福岡県田川市>経営評価改革推進委員会委員長、新中学校のあり方に関する審議会会長、地方創生・人口減少対策有識者会議委員長

<福岡県直方市>行政改革推進委員会会長、消防本部職員採用試験員

<福岡県田川郡香春町>情報公開審査会会長、個人情報保護審査会会長、政治倫理審査会会長、行政改革推進委員会会長、総合計画審議会委員

<株式会社麻生・飯塚病院>倫理委員会委員、臨床研究管理委員会委員

### 8. 学外講義・講演

<公務員研修>福岡県市町村職員研修所「ディベート研修」(2015年9月3日~4日)、「文書添削力向上研修」(2015年10月5日~2016年2月8日)、「先進地視察研究<四王寺塾>」(2015年6月29日~12月17日)

福岡県直方市職員政策研修、福岡県田川市職員研修「スキルアップ神谷塾」、福岡県京都郡みやこ町職員人材育成研修、福岡県田川郡香春町職員政策形成実践研修など地方自治体職員研修多数

<医療職向け講演>第57回飯塚緩和医療勉強会「緩和ケアをめぐる倫理的諸問題~告知、説明と同意、治療の差し控え等~」(2015年12月1日)

<市民向け講演>筑豊市民大学創立15周年記念講演「『筑豊の希望』として、未来を拓くために」(2015年9月26日)、筑豊市民大学講演「偶然性と運命」(2016年1月23日)

### 9. 附属研究所の活動等

附属研究所生涯福祉研究センター長

生涯福祉研究センター地域支援員(筑豊市民大学アドバイザー・講座部担当)